

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」



大麻事犯の検挙者数が増加しています！！特に、未成年者と20歳代の割合が増加し、大麻事犯の約半分を占めています。東大阪市内でも大麻を不正栽培していた者が逮捕されました。

大麻事犯に関する最近のニュース

- ・東大阪市内で、ブラジル国籍の男が、自己使用の目的で大麻を栽培していたとして、大麻取締法違反の疑いで逮捕。（平成29年2月）
- ・沖縄県石垣島で、元女優が、大麻を隠し持っていたとして、大麻取締法違反の疑いで逮捕。（平成28年10月）
- ・京都市内で、小学生の男児が、兄が隠し持っていた大麻草を見つけ吸引。兄は大麻取締法違反の疑いで逮捕。（平成27年11月）

大麻は安全？？？

大麻の穂や葉に含まれるTHCが脳神経のネットワークを切断し、幻覚作用、記憶障害、学習能力の低下、知覚の変化などを引き起こします。

世界保健機関（WHO）は大麻を精神毒性、依存性がある有害なものと評価しており、医療用途についても認めていません。

国際条約上もヘロインと同様の最も厳しい規制がかけられています。

大麻は安全ではありません！！危険な薬物です！！

薬物乱用の最も恐ろしい特徴『依存性』と『耐性』

- 依存性** 「1回くらいなら大丈夫」「自分はすぐにやめられる」と思っても、また使いたくなり、繰り返し使わずにはいられなくなってしまう。
- 耐性** それまでの量では効き目が薄れるため、どんどん使う量が増えていく。

1回だけと思って始めた人も、薬物の「依存性」と「耐性」によって使用する量や回数がどんどん増えてどうしようもない悪循環に陥ります。もはやそうになると、自分の意思だけではやめることができません。

薬物乱用を防止するために！！



- 薬物の危険は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと



東大阪市保健所 環境薬務課 薬事担当
TEL：072-960-3804